



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月6日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社
コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長執行役員CEO (氏名) 山内 一裕
問合せ先責任者 (役職名) 理事経営管理本部経理部長 (氏名) 松田 好司
半期報告書提出予定日 2024年11月6日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 03-6262-6565

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,000	6.2	171	20.4	73	27.4	38	21.0
2024年3月期中間期	1,883	3.2	142	58.4	57		48	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 73百万円 (17.6%) 2024年3月期中間期 89百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	1.28	1.27
2024年3月期中間期	1.61	1.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	19,978	4,919	24.6
2024年3月期	20,349	4,935	24.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,908百万円 2024年3月期 4,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		2.00	2.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	6.6	390	22.3	180	28.8	110	28.3	3.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	30,360,000 株	2024年3月期	30,360,000 株
-------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期中間期	405,713 株	2024年3月期	105,663 株
-------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	30,063,758 株	2024年3月期中間期	30,205,366 株
-------------	--------------	-------------	--------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、消費者物価の上昇や記録的な猛暑日が続き秋冬物の動きが鈍化するなど一部に足踏みがみられたものの、雇用・所得環境の改善等により、総じて緩やかな回復を続けました。さらに、日銀のゼロ金利解除の影響、為替市場での円安水準の定着、東欧・中東での紛争の影響などにより、原油をはじめとするエネルギー資源の価格上昇リスクなど先行き不透明な状況が続きました。

このような中で、当社グループは今年度から新たにスタートした中期経営計画「Jumping over the 130th ～成長の未来へ～」に基づく諸施策に鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、共同懸賞企画「Thanks! サマーデイズ」「プレミアムセール」などのイベントを実施するなど施設の魅力度アップに取り組むとともに、景気回復や物価上昇に伴う販売単価のアップを背景に施設取扱高は増加しました。ヘルスケア事業におきましては、医療機器製造販売登録を行っている戦略製造拠点である当社のグループ工場の受注を強力に推進したこともあり、電位掛布団などの大口受注を確保することができました。せんい事業におきましては、ユニフォーム関連営業を強化した結果、防衛関係の官需での受注増などに繋がりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は20億円（前年同期比6.2%増）、営業利益は、退職手当制度の改訂による退職給付費用の積み増しが響いたものの、減価償却費負担の減少もあり1億71百万円（前年同期比20.4%増）、経常利益73百万円（前年同期比27.5%増）の増収増益となり、税金等調整前中間純利益では73百万円（前年同期比27.5%増）となりました。しかし、税務上の繰越欠損金の繰越控除期限切れが見込まれることに伴い繰延税金資産の取崩しによる法人税等の増加が見込まれた結果、親会社株主に帰属する中間純利益は38百万円（前年同期比21.0%減）と前年同期比減益となりました。

なお、第1四半期末における棚卸資産の一部算定誤りにより、第1四半期連結累計期間における損益が約11百万円悪化することが判明し、2024年10月28日付で【(訂正・数値データ訂正)「2025年3月期第1四半期決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について】を公表しました。ただし、当中間連結会計期間の業績は、商業施設事業セグメントが順調に推移したことなどにより、ほぼ当初公表した第2四半期(累計)業績予想通りに着地しました。(第2四半期(累計)業績予想：売上高21億円、営業利益1億80百万円、経常利益70百万円、親会社株主に帰属する中間純利益40百万円)

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、猛暑が長引いたことなどにより夏休みから9月にかけて順調に推移したことや、景気回復や物価上昇を背景とした販売単価のアップもあり、採算性が向上した結果、業績は順調に推移しました。

この結果、商業施設事業の売上高は11億8百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は減価償却費負担の減少もあり4億58百万円(前年同期比10.0%増)と前年同期比増収増益となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、電位掛布団やEウール加工を施したキャメル製品などの販売が伸びて、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、春先の毛布商材の売上不振が響き、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は5億38百万円（前年同期比1.4%増）と前年同期比増収となり、採算性も向上した結果、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失14百万円）と前年同期比で損失幅改善となりました。

(せんい事業)

衣料部門につきましては、主に前期に清算終了した中国現地法人の売上がなくなったことや記録的な猛暑日が続き秋冬物の初動に遅れが見られたことにより、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、せんい事業の売上高は3億53百万円(前年同期比32.4%増)、営業利益は23百万円(前年同期比451.1%増)と前年同期比増収増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産の残高は199億78百万円で、前期末比3億71百万円減少しました。その主な要因は、仕入債務の支払などにより現金及び預金が1億67百万円減少したこと、新規取得79百万円、減価償却費2億43百万円などにより有形固定資産が1億52百万円減少したことであります。

負債の残高は150億59百万円で、前期末比3億55百万円減少しました。その主な要因は、仕入債務の支払により支払手形及び買掛金が1億22百万円減少したこと、テナントからの預り金の減少などにより流動負債のその他が64百万円減少したこと、新規借入2億円及び約定弁済2億79百万円により借入金79百万円減少したことであります。

純資産の残高は49億19百万円で、前期末に比べ15百万円減少しました。その主な要因は、市場買い付けによる自己株式の増加と配当支払などにより株主資本が52百万円減少したこと、保有株式の株価下落によりその他有価証券評価差額金が21百万円減少したこと、金利スワップの時価評価により繰延ヘッジ損益が56百万円増加したことであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、91百万円のプラス(前年同期比75.6%減)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益73百万円、減価償却費2億43百万円、売上債権の減少81百万円、仕入債務の減少1億22百万円および長期前払費用や預り金の支出に伴うその他の減少96百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、79百万円のマイナス(前年同期は12百万円のマイナス)となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出79百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億80百万円のマイナス(前年同期は3億24百万円のマイナス)となりました。これは主に、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出2億79百万円、配当金の支払額60百万円、自己株式の増加30百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は9億20百万円(前年同期比11.8%減)となり、前期末に比べ1億67百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月9日発表の通期連結業績予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,097,756	930,324
受取手形及び売掛金	625,125	540,539
棚卸資産	766,701	813,150
その他	37,493	31,367
貸倒引当金	△1,380	△1,330
流動資産合計	2,525,696	2,314,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,727,648	7,571,119
土地	9,265,726	9,265,726
その他(純額)	162,534	166,993
有形固定資産合計	17,155,909	17,003,839
無形固定資産		
のれん	128,073	120,869
その他	12,375	9,052
無形固定資産合計	140,448	129,921
投資その他の資産		
投資有価証券	414,889	383,568
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	65,736	44,373
その他	44,088	99,973
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	527,743	530,943
固定資産合計	17,824,100	17,664,704
資産合計	20,349,797	19,978,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,986	336,032
短期借入金	546,370	581,328
未払法人税等	1,011	6,666
賞与引当金	37,943	39,368
株主優待引当金	29,000	—
その他	659,593	595,348
流動負債合計	1,732,905	1,558,744
固定負債		
長期借入金	9,372,269	9,258,274
長期預り保証金	1,325,950	1,296,609
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	285,911	306,119
資産除去債務	71,886	68,884
その他	149,261	94,365
固定負債合計	13,681,774	13,500,747
負債合計	15,414,680	15,059,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	30,979	30,979
利益剰余金	138,161	115,952
自己株式	△9,791	△40,384
株主資本合計	259,349	206,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,825	29,603
繰延ヘッジ損益	△49,092	7,377
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
その他の包括利益累計額合計	4,666,596	4,701,845
新株予約権	9,171	10,872
純資産合計	4,935,117	4,919,264
負債純資産合計	20,349,797	19,978,757

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,883,600	2,000,641
売上原価	1,282,251	1,334,305
売上総利益	601,348	666,336
販売費及び一般管理費	458,585	494,404
営業利益	142,762	171,932
営業外収益		
受取利息	225	3
受取配当金	3,737	4,844
持分法による投資利益	14	1,121
固定資産売却益	10,035	—
その他	3,186	204
営業外収益合計	17,198	6,173
営業外費用		
支払利息	99,787	102,385
その他	2,328	1,996
営業外費用合計	102,116	104,381
経常利益	57,845	73,723
税金等調整前中間純利益	57,845	73,723
法人税、住民税及び事業税	575	6,666
法人税等調整額	8,718	28,683
法人税等合計	9,294	35,350
中間純利益	48,550	38,373
親会社株主に帰属する中間純利益	48,550	38,373

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	48,550	38,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,187	△21,221
繰延ヘッジ損益	12,556	56,469
為替換算調整勘定	64	—
その他の包括利益合計	40,808	35,248
中間包括利益	89,359	73,622
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	89,359	73,622
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	57,845	73,723
減価償却費	261,018	243,430
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△140	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	353	1,424
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△28,000	△29,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,886	20,207
受取利息及び受取配当金	△3,963	△4,847
支払利息	99,787	102,385
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△1,121
売上債権の増減額 (△は増加)	123,420	81,008
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△93,237	△46,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	136,795	△122,954
預り保証金の増減額 (△は減少)	△14,263	△29,340
その他	△67,202	△96,306
小計	475,284	192,110
利息及び配当金の受取額	3,963	4,847
利息の支払額	△98,996	△104,063
法人税等の支払額	△4,250	△1,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,001	91,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△12,901	△79,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,901	△79,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△277,329	△279,037
リース債務の返済による支出	△12,704	△8,072
配当金の支払額	△30,242	△60,582
その他	△4,406	△32,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324,683	△180,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,907	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	42,324	△167,431
現金及び現金同等物の期首残高	1,000,958	1,087,570
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,043,283	920,138

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	157,971	531,067	267,453	956,491	—	956,491
その他の収益	927,108	—	—	927,108	—	927,108
外部顧客への売上高	1,085,079	531,067	267,453	1,883,600	—	1,883,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,085,307	531,067	267,453	1,883,828	△228	1,883,600
セグメント利益又は損失 (△)	416,874	△14,452	4,225	406,647	△263,885	142,762

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△263,885千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	165,538	538,594	353,998	1,058,131	—	1,058,131
その他の収益	942,510	—	—	942,510	—	942,510
外部顧客への売上高	1,108,048	538,594	353,998	2,000,641	—	2,000,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	101	329	△329	—
計	1,108,276	538,594	354,099	2,000,970	△329	2,000,641
セグメント利益又は損失 (△)	458,653	△8,794	23,286	473,145	△301,212	171,932

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△301,212千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当中間連結累計期間において自己株式が30,588千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が40,384千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。